

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公表番号】特表2001-509929(P2001-509929A)
【公表日】平成13年7月24日(2001.7.24)
【出願番号】特願平10-533131
【国際特許分類第7版】
G 0 8 C 17/00
【F I】
G 0 8 C 17/00 Z

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月28日(2005.1.28)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

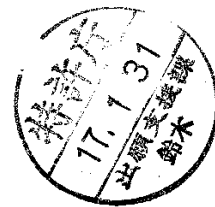
平成17年1月28日



特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年 特許願 第533131号



2. 補正をする者

住所 (居所) アメリカ合衆国 インディアナ州 46290-1024
インディアナポリス ノース・メリディアン・ストリート
10330

氏名 (名称) トムソン コンシューマ エレクトロニクス
インコーポレイテッド

3. 代理人

住所 〒150-6032 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号
恵比寿ガーデンプレイスタワー32階

氏名 (7015) 弁理士 伊 東 忠 彦
電話 03(5424)2511 番 (代表)



4. 補正対象書類名

特許請求の範囲

5. 補正対象項目名

特許請求の範囲

6. 補正の内容

(1) 特許請求の範囲の記載を別紙の通り補正する。

特許請求の範囲

1. ユーザからの遠隔制御メッセージを受ける入力装置と、

信号送信器と、

上記入力装置及び上記信号送信器に動作的に接続されるコントローラとを備え、

上記コントローラは、第1の遠隔メッセージプロトコルと第2の遠隔メッセージプロトコルをサポートし、ユーザ入力に応答して遠隔制御メッセージを発生して上記信号送信器に上記遠隔制御メッセージを送信させ、

上記遠隔制御メッセージは、スタートシーケンスと後続の複数のデータフィールドとを有し、各データフィールドは、フィールド終了マークで終わり、上記複数のデータフィールドは、上記第1の遠隔メッセージプロトコルを識別するメッセージタイプ識別子を有する状態フィールドと、上記第1の遠隔メッセージプロトコルに従ってフォーマット化されたキーコードデータを伝搬するキーコードデータフィールドとを含む、

ことを特徴とする遠隔制御装置。

2. 入力装置を介してユーザ入力を受信する段階と、

第1の遠隔メッセージプロトコルに従って上記ユーザ入力と関連されるIR遠隔制御メッセージであって、上記第1の遠隔メッセージプロトコルにより定義されるポーズ間隔を有するIR遠隔制御メッセージを発生する段階と、

第2の遠隔メッセージプロトコルに従って上記ユーザ入力に対応したRF遠隔制御メッセージを発生する段階と、上記RF遠隔制御メッセージは、実質的に同じ期間を有するパルス及びポーズ期間を有するスタートシーケンスと、その後続く複数のデータフィールド及びメッセージ終了マークとを含み、上記データフィールドのそれぞれは、フィールド終了マークで終わり、上記複数のデータフィールドは、上記第2の遠隔メッセージプロトコルを識別するメッセージタイプ識別子を有する状態フィールドと、上記第2の遠隔メッセージプロトコルに従ってフォーマット化されたキー

コードデータを有するキーコードデータフィールドとを含み、

上記 I R 遠隔制御メッセージの上記ポーズ間隔の間に上記 R F 遠隔制御メッセージを送送することにより、上記 I R 遠隔制御メッセージ及び上記 R F 遠隔制御メッセージを送送する段階と、

を備えることを特徴とする遠隔制御メッセージを送送する方法。